

「道の駅」の設置検討に関するアンケート調査結果

市内への「道の駅」の設置検討について、市民や道路利用者等のニーズを把握し、調査研究を進めるために実施したアンケートの調査結果を公表します。

1. 調査期間
令和7年12月15日（月）～ 令和8年1月15日（木）
2. 回答方法
市LINE公式アカウント、WEB、アンケート用紙
3. 調査結果
計4,040件（LINE：3,736件、WEB：50件、用紙：254件）
4. 調査結果
別紙のとおり

担当・問い合わせ先

国県・企画調整課 0463-94-4796

「道の駅」の設置検討に関するアンケート調査結果

このたびは「道の駅」の設置検討に関するアンケート調査にご協力いただき、ありがとうございました。
アンケート調査の結果は次のとおりです。

【調査期間】 令和7年12月15日（月）から令和8年1月15日（木）まで

【目的】 伊勢原市内への「道の駅」の設置検討について、市民や道路利用者等のニーズを把握し、調査研究を進めるため。

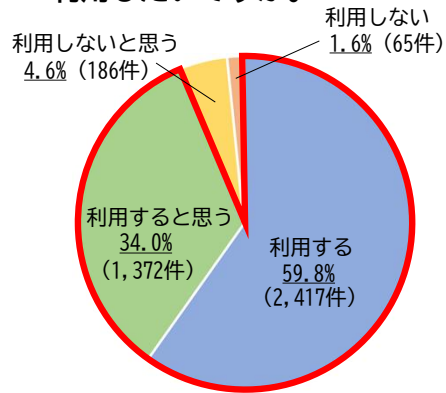
【回答方法】 市公式LINE、WEB（e-kanagawa）及びアンケート用紙

【回答数】 計 4,040 件（LINE：3,736 件、WEB：50 件、用紙：254 件）

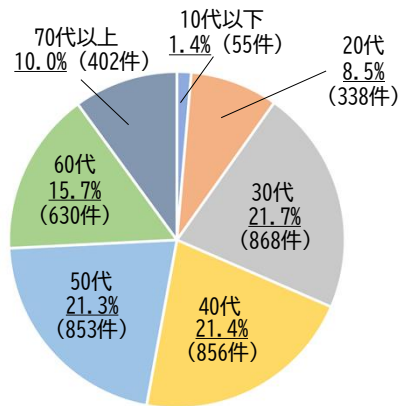


■アンケート調査結果（全体集計）

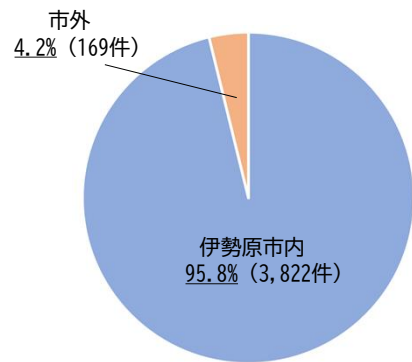
Q. 市内に「道の駅」があったら、利用したいですか。



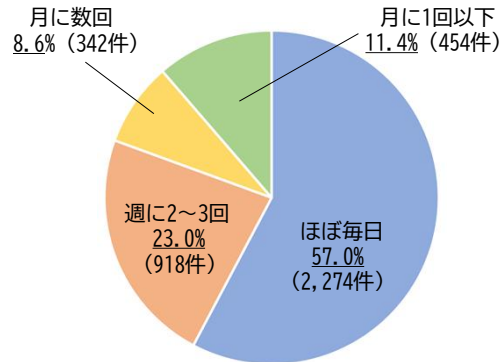
Q. あなたの年代をお選びください。



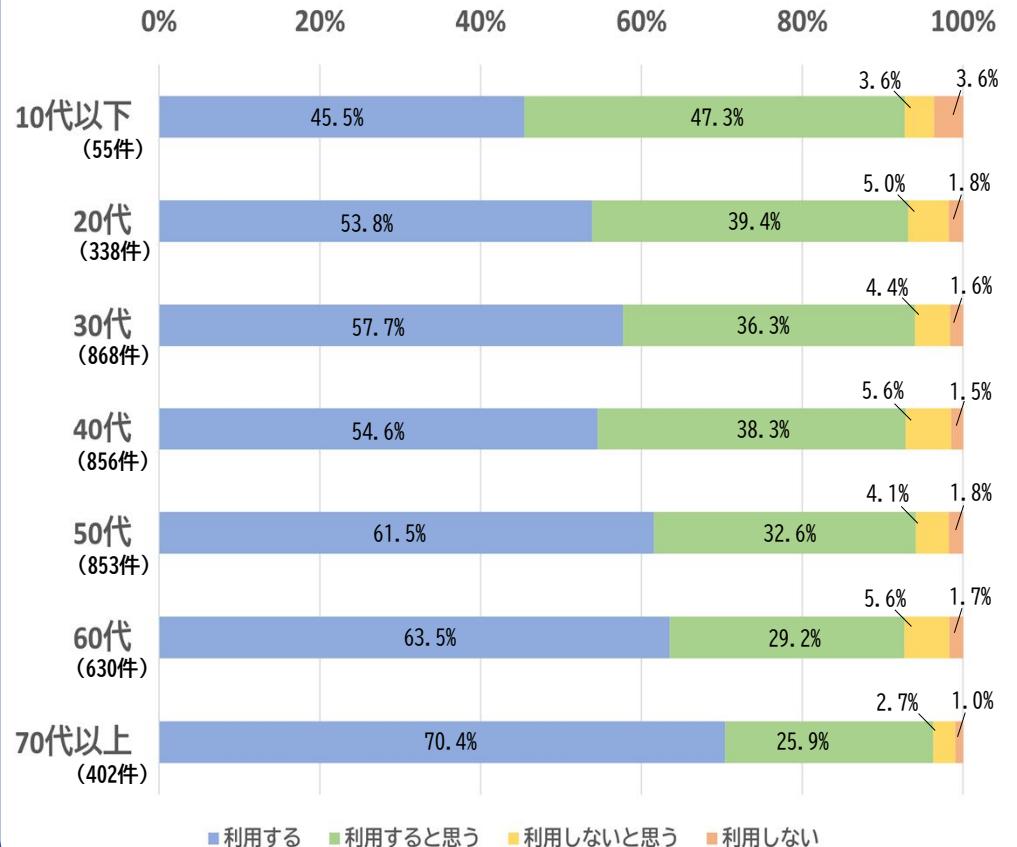
Q. あなたの住まいは、どのエリアに該当しますか。



Q. あなたの自家用車等の運転頻度を教えてください。



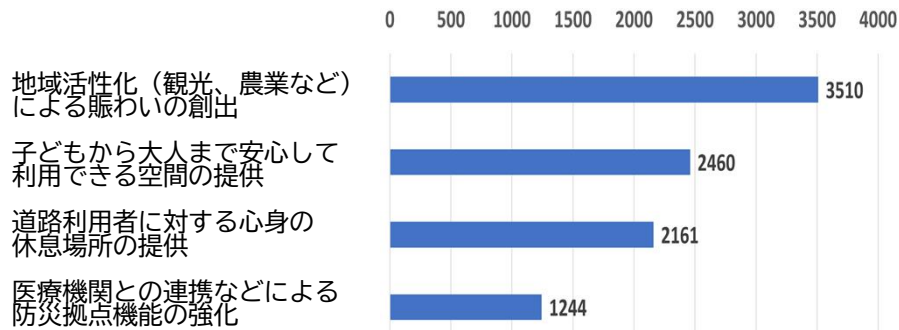
○クロス集計 [年代×利用意向]



※各設問において未回答者が含まれるため、設問ごとの回答数の合計は全体と異なる場合があります。

Q. 「道の駅」に期待する機能はどれですか。
(複数回答可)

(単位：件)



Q. 「道の駅」にあったら良い施設はどれですか。
(複数回答可)

クロス集計 [年代×施設]

全体回答		年代						
		10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
回答者数	4,040 件	55 件	338 件	868 件	856 件	853 件	630 件	402 件
1	地元物産直売所 3,644 件 90%	39 件 (71%)	293 件 (87%)	759 件 (87%)	789 件 (92%)	787 件 (92%)	570 件 (90%)	373 件 (93%)
2	飲食店 3,444 件 85%	47 件 (85%)	290 件 (86%)	734 件 (85%)	714 件 (83%)	744 件 (87%)	541 件 (86%)	339 件 (84%)
3	温浴施設 2,333 件 58%	33 件 (60%)	194 件 (57%)	508 件 (59%)	494 件 (58%)	520 件 (61%)	358 件 (57%)	193 件 (48%)
4	緑地、広場 2,095 件 52%	31 件 (56%)	173 件 (51%)	483 件 (56%)	432 件 (50%)	408 件 (48%)	340 件 (54%)	195 件 (49%)
5	観光案内所(情報板も含む) 2,009 件 50%	22 件 (40%)	127 件 (38%)	320 件 (37%)	416 件 (49%)	484 件 (57%)	363 件 (58%)	242 件 (60%)
6	防災備蓄倉庫 1,733 件 43%	19 件 (35%)	131 件 (39%)	330 件 (38%)	349 件 (41%)	390 件 (46%)	296 件 (47%)	185 件 (46%)
7	キッズルーム・ベビーコーナー 1,600 件 40%	16 件 (29%)	141 件 (42%)	557 件 (64%)	322 件 (38%)	227 件 (27%)	200 件 (32%)	108 件 (27%)
8	災害用資機材ヤード 1,185 件 29%	10 件 (18%)	88 件 (26%)	201 件 (23%)	258 件 (30%)	281 件 (33%)	206 件 (33%)	112 件 (28%)
9	ドッグラン 973 件 24%	15 件 (27%)	88 件 (26%)	190 件 (22%)	210 件 (25%)	252 件 (30%)	132 件 (21%)	56 件 (14%)
10	体験コーナー 883 件 22%	11 件 (20%)	63 件 (19%)	213 件 (25%)	195 件 (23%)	175 件 (21%)	111 件 (18%)	84 件 (21%)
11	地域コミュニティスペース 829 件 21%	13 件 (24%)	51 件 (15%)	121 件 (14%)	144 件 (17%)	198 件 (23%)	153 件 (24%)	118 件 (29%)
12	健康チェックコーナー 590 件 15%	3 件 (5%)	39 件 (12%)	91 件 (10%)	94 件 (11%)	142 件 (17%)	105 件 (17%)	86 件 (21%)

※全体回答の割合と5%以上差がある箇所を色付きで表示。(プラスは赤、マイナスは青)

○ 「道の駅」に期待する機能、施設に関する選択肢外の意見 (自由記述)

【回答数】

機能に関すること 計 **286** 名 (LINE: 270名、WEB: 1名、用紙: 15名)

施設に関すること 計 **418** 名 (LINE: 394名、WEB: 5名、用紙: 19名)

■ 地域活性化（観光、農業など）による賑わいの創出

- 地元の農産物、グルメ、スイーツ、特産品の販売
- フードコートやキッチンカーの出店など、多彩な飲食の提供
- 伊勢原ならではの景観を活かしたカフェテラス、フォトスポットの設置
- 車利用者に限らず、誰もが気軽に利用できるような施設の設計
- 交通拠点機能等（バス停・バスターミナル、パークアンドライド、自転車や電動キックボードのシェアリング）の導入
- 伊勢原の魅力を対外的に発信・PRする場としての活用（観光案内（周辺施設、駐車場、登山情報、観光ボランティア団体の紹介）や展示コーナー（地域文化、大山街道地図、市内景観写真）等）
- 他市町村の「道の駅」との相互連携（イベント情報等）
- イベント・集会用スペースの設置（フリーマーケット等） など

■ 子どもから大人まで安心して利用できる空間の提供

- 授乳室、調乳用設備（お湯）、おむつ替えコーナー、おむつ等の自販機、大人と一緒に入れるトイレなど、子育て世代に使い勝手の良い機能
- 清潔で多機能なトイレ（温便座、バリアフリー）の整備
- 子どもから大人まで遊べる全天候型の空間等の整備 など

■ 道路利用者に対する心身の休息場所の提供

- 広い駐車場（大型車、二輪車、自転車）の整備
- 給油・給電施設（GS、充電、水素ステーション）の整備
- 温浴施設（温泉、足湯、サウナ、シャワー）やリラクゼーション施設の整備
- 簡易的な宿泊施設（RVパーク、車中泊スペース、仮眠所）の整備
- ペットも休息できる空間の整備 など

■ 医療機関との連携などによる防災拠点機能の強化

- 災害発生時に有効な防災機能（施設）の整備、充実（広い駐車場、ヘリポート、マンホールトイレ、貯水池、非常用電源）
- 市役所機能のバックアップ体制の確保
- 災害業務従事者の業務継続拠点の確保（医療ヤード等）
- 観光客等の一時避難所機能の整備
- ペットの避難所（ペットフードの備蓄）の確保 など

■アンケート調査結果（自由記述）

【回答数】 計 **1,450** 名（LINE：1,315名、WEB：35名、用紙：100名）

■ 期待の主な意見

【地域活性化等に関すること】

- 地元で採れた新鮮な農産物や加工品等の販売を通じて伊勢原の魅力積極的に発信できる良い機会（リピーターも狙える）。
- 道の駅が市内の観光資源（大山や日向地区等）と連携することによって、地域全体が発展していくことに期待。
- 市内の既存施設（農産物直売所や商店街等）と相互連携に期待。（道の駅側からも利用客を市内側へ誘導できると良い）
- 地域経済活性化、持続的発展のためにも、早期の設置実現を期待。
- 伊勢原大山IC周辺への立地やETCの機能を活用することで、一般道路、高速道路問わずアクセスできる便利な施設を期待。
- 国道246号沿いに立地し、集客性の高い施設になることを期待。

【道の駅の機能、施設に関すること】

- 中途半端な内容や規模ではなく、広い駐車場や魅力ある施設を整備して、伊勢原の賑わいのスポットとなることを期待。
- 車を運転しない人でも施設を利用できるように、バスや徒歩等でも行きやすい立地や交通手段（シャトルバス等）の検討を期待。
- 大山登山の帰りに寄ることができる温浴施設を設置してほしい。
- 子育て世代にとっても使いやすい施設の設置を期待。（気軽におむつ替えをするスペースがなくて困っている）
- 災害時の避難場所や防災拠点として、給水、炊き出し、物資配給、救護所など多機能な役割に期待。
- イベントや地域の集会機能も兼ね備えた施設の整備を期待。

【市の財政、施策に関すること】

- 施設の運営収益の一部を市民に還元される仕組みを考えてほしい。
- 若い世代の意見等も活かしてほしい。

など

■ 懸念の主な意見

【周辺環境に関すること】

- 道の駅設置による市内交通への悪影響を心配している。特に国道246号は慢性的に混雑していることから、渋滞を助長するような場所への道の駅設置は反対。
- 広い駐車場や出入口の工夫など、渋滞対策には慎重な検討が必要。
- 道の駅の設置により、市内に立地する商店等の売上げ減少への懸念。
- 夜間の騒音（車両・集会）や治安悪化（溜まり場・違法改造車）、ごみ問題、目的外駐車、周辺住民への悪影響が心配。最初からしっかりとルールやマナーを徹底すべき。

【道の駅の機能、施設に関すること】

- 農業の後継者不足等によって地域資源の安定供給への不安。
- 市内には既に類似の施設（JA等）が存在しており、道の駅で販売する量（伊勢原産の農産物や特産品等）を確保できるのか。（結果的に他の自治体の商品ばかりが並ぶことにならないか）

【市の財政、施策に関すること】

- 道の駅を整備するのであれば、市としてのメリットや効果、財政負担の予定等を事前に示すなど、市民に十分な説明を願いたい。
- 多額の建設費、施設運営費、維持管理費などの費用に対し、市の予算（税金）を投入することへの不安。
- 十分な運営収益が見込めるように第三者や専門家等の意見を聞く必要があるのではないか。

など

今回のアンケートでは、市内外・年齢層等を問わず、多くの方からたくさんの貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

伊勢原市内への「道の駅」の設置は、市内の賑わい創出や経済の好循環をもたらすとともに、防災面でも人々がより安心した暮らしを実感できるメリットが想定される一方、市内の交通環境や治安の悪化、市の財政や運営経費等への懸念のご意見も多数いただきました。

このたび、お寄せいただいた貴重なご意見は、課題として受け止めるとともに、伊勢原市の持続的な発展に有効な施策候補の一つとして、今後も「道の駅」に関する調査研究を進めてまいります。

引き続き、伊勢原市政へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



伊勢原市公式イメージキャラクター
クルリン